



小国町立小国小学校 学校だより

# おぐにっ子

平成30年  
11月14日(水)  
発行  
第11号  
文責:校長 今 秀之

## 白い森の国「おぐに」を体感しよう! ～「郷土を知る日」の遠足を終えて～

9月28日(金)に5・6年生、10月25日(木)に1・2年生と3・4年生が、「郷土を知る日」として小国町内の旧小学校区に遠足に行ってきました。これは、昨年度まで行っていた全校遠足のやり方を変えたもので、小国町の中心部だけでなく、東西南北様々な方面に出かけて、私たちが住む小国町のよさを体感しようという目的で行ったものです。そして、今は小国小学校に統合された各地の学校についての理解を深め、その地域の自然や建物について学び、地域の方々とふれあう機会になればと考えています。各学年がお世話になった講師の先生方、ありがとうございました。



1・2年生の  
講師の先生  
舟山 功さん  
岡村 俊春さん  
益田 敏夫さん  
金野やよいさん  
※お世話になりました!

1・2年生は旧伊佐領小学校に行ってきました。朝霧から旧道を歩き、木の葉や木の实について教えてもらいました。



3・4年生の  
講師の先生  
伊藤 良一さん  
三須 一郎さん  
高橋 健二さん  
佐藤 忠明さん

3・4年生は旧小玉川小中学校区に行ってきました。飯豊山荘から歩き、溪谷の美しさを感じ、旭又の滝の存在を知りました。



5・6年生の講師の先生  
井上 邦彦さん  
関 英俊さん  
齋藤 弥輔さん  
蛭原 一平さん  
佐藤 忠明さん



5・6年生は旧北部小中学校区に行ってきました。大石橋からりふれまでの行程を、自然と関わる生活についてお話を聞きながら歩きました。



# 「昼休みに図書室に行こう！」その2

# その3



5年生を対象に行った「消しゴムはんこのれん」

9月5日(水)は、5年生が30人ほど集まり、「消しゴムはんこのれん」を作りました。様々な形をした消しゴムに絵の具をつけて、てぬぐい思い思いの模様を描いていきました。一人一人の作品をつなげて、大きなのれんが完成しました。



6月に行った1回目につき、9月と11月にも、本校の読み聞かせパートナーである、ボランティアグループ「トライあぐる」の皆さんに、お楽しみイベントを開催していただきました。これは、子どもたちに図書室が楽しい場所であることを実感してもらいたい、地域の方と触れ合う機会をもってもらいたいという願いから行っているものです。



11月1日(木)には、4年生の希望者が集まって、「ちぎり絵」を作成しました。誰もが一度は読んだことがあるであろう「はらぺこあおむし」を題材にして、いろいろな色の紙をちぎって、貼り合わせていきました。残念ながら時間内にすべては終わりませんでした。次の日から図書室に足を運んで続けていて、少しずつ完成に近づいています。完成したら図書室に飾りますので、ぜひご覧にいらしてください。

## 読書の力

先日の全校朝会で、子どもたちに読書をするとうつ3つのいいことがあるというお話をしました。今、学校では図書委員会主催の「読書まつり」が行われています。下記のような効果があるそうですので、ご家庭でも読書に親しんでみてはいかがでしょうか。(10月30日の講話より抜粋)

四年生が取り組んでいる「はらぺこあおむし」のちぎり絵もう少しで完成です。



1つ目は「言葉をたくさん覚えることができる」ということです。本の中にはたくさんの言葉が出てきて、もちろん知っている言葉の方が多いと思いますが、時々、初めて聞く言葉が出てくることもあるでしょう。でも、本を読んでいるうちにその言葉の意味がわかってきて、今まで知らなかった言葉を覚えてしまう。そうしてたくさん言葉を覚えることができるのです。

2つ目は「集中力が身につく」ということです。おもしろい本とか自分が興味がある本だと、知らず知らずのうちにどんどん読んでしまうということはありませんか。時間を忘れて本に集中できることはとても大切なことで、本に集中できる人は他のことでも集中力が身についてくるのです。

3つ目は「創造力が身につく」ということです。本を読んでいると、本に出てくる人の気持ちになったり、実際にはできないことが体験できたような気になったりするものです。宇宙や外国に行ったりすることができるし、探偵になったりもできます。過去や未来に行くこともできますね。